

目次

- 2p イン트로ダクション
- 4p はじめに
- 7p 緑井財産区議会議長メッセージ
- 8p 権現山ストーリー ～フォト&エッセイ～
やすらぎの物語の宝庫
金運アップ!? 商売繁盛の神さまにお参りしてみよう
四季折々の表情を愉しむ
権現山の「昔と今」を比べてみよう
- 20p 権現山いろいろQ&A
- 24p 歴史・文化探訪の里山歩き——コースガイド
毘沙門天参道 ①
毘沙門天本堂 ②
西廻り遊歩道 ③
権現山頂上 ④
東廻り遊歩道 ⑤
権現山／四季の小図鑑
- 40p 権現山とわたし ① —— 権現山賛歌
- 44p 権現山とわたし ② —— 権現山を守り、育てる
- 48p 緑井歴史物語

緑井財産区議会議長メッセージ

権現山（一部）は、古くから緑井地区の住民皆の財産として大切にされてきました。昭和30（1955）年、緑井村が八木村・川内村と合併して佐東町が誕生した際に、権現山の一部は旧緑井村の区有財産として管理されることになり、「緑井財産区議会」が発足しました。昭和48（1973）年に広島市との合併後も引き続き存続しましたが、このほど70年を迎えるのを前に山を広島市に寄付し、財産区を解散する運びとなりました。



権現山は、「野山」と呼ばれ、緑井の人々に身近な里山として親しまれてきました。かつては、中腹あたりまで棚田があり、皆、秋になれば松茸を採りに行き、冬から春先にかけては地域総出で鎌を持って下刈りに行きました。刈った枝は必要な人が持ち帰って薪として活用しました。三本松に囲まれた宇那木山2号古墳のある平らな場所へは、春になると皆で花見に行きました。私も子どもの頃は権現山を遊び場に、カズラにぶら下がったり友だちと砦を作ったり、野いちごやアケビを採ったりしたものです。

現在では権現山は広島市の「憩の森」として、皆さんに安心して利用していただくため、地域のボランティアの方々のご協力もあり、遊歩道やトイレなどが整備されています。緑井財産区は、市が権現山に植林する桜の苗を毎年寄付してきました。桜のほかに、秋の紅葉も見事です。木の実に誘われて野鳥もやって来ます。また登山ルートから眺める広島デルタ地帯の絶景や毘沙門天参道の歴史散策など魅力にあふれています。

このような自然と歴史豊かな権現山を歩けば、心身の健康によいでしょう。これからも、より多くの方に権現山の里山歩きを楽しんでいただけたらと思います。緑井の宝・権現山は、私たちの地域をずっと見守ってくれることでしょう。

令和5（2023）年9月

緑井財産区議会議長
植竹正彦